

身の回りでできること

- 雨水の下水道への入り口である“ます”を植木鉢などでふさいだり、ごみや砂を掃きこんだりしない。
- 大雨の時には、「洗濯をしない」・「お風呂の水を流さない」等、多くの水が下水道へ流れ込まないように努める。
- 気象情報には十分注意する。
- 防災マップにより大雨が降った場合の浸水の予想や避難情報を事前に確認しておく。
- 下水道にたくさんの水が一度に流れ込むため、雨水をタンクで貯める助成制度を活用してみませんか。



降雨情報の提供



防災マップの公表



雨水貯留タンクの助成